

令和2年度第2回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

開催日時	令和2年12月15日（火）午前10時00分～午前11時30分
場 所	さぬき市役所4階 第2委員会室
出席者	[委 員] 計8名 奈良委員（会長）、松本委員（副会長）、大部委員、木村イツ子委員、木村英司委員、國方委員、高嶋委員、津村委員
	[事務局] 計4名 総務部：向井部長 総務部政策課：間嶋課長、原田副主幹、多田
欠席者	[委 員] 計1名
傍聴者	2名
次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 （1）意見徴収票の集約について （2）その他 4 その他 5 閉会
配布資料	・次第 ・資料1 公益社団法人さぬき市シルバー人材センター 収支計算書の概要（令和元年度） ・資料2 意見徴収票の集約について 添付：委員提出資料1、2 ・資料3 さぬき市の行財政状況等

開会

報 告 事務局	<p>前回あった質問について報告</p> <p>①部長職の配置について</p> <p>②公益社団法人さぬき市シルバー人材センターの収支計算書について ＜資料1について説明＞</p> <p>③令和元年度の提言書について</p>
会 長	<p>前回御質問いただいた部長職の配置などについて事務局から報告がありましたが、質問などありましたらお願いします。</p>
委 員	<p>部長職の配置について、廃止するように言ったのではなく、5万人未満の人口で部長職を配置するのが是か非か、検討する必要があると言ったつもりです。業務遂行上の必要性と、人件費の観点を比較することも含めて検討した方がよいです。</p>
委 員	<p>シルバー人材センターの収支計算書の概要では、役員報酬が多いのではないかと言う市民がいます。</p>
事務局	<p>該当科目の中の50,460円は理事会が開かれたときに支払われており、残りの420,000円は、1か月35,000円として理事長の役員報酬と聞いております。</p>
委 員	<p>シルバーの会員は剪定などをしてきていますが、けがや高齢が原因で辞めていく会員が多いにも関わらず、新しく会員になる人が少ないと聞いています。そのような状況に見合わず、役員が多いのではないかという市民の意見があることから、役員報酬について質問しました。</p>
委 員	<p>発注者の方から10%もらっているのは、どの科目に入るのですか。受取事務費ですか？</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委 員	<p>先ほど報告のあった提言書についての資料はないのですか？</p>
事務局	<p>口頭で御報告させていただきました。</p>
委 員	<p>昨年度から地域手当について質問しています。11月26日の四国新聞において、一般職員の地域手当を1月から支給しないということですが、医療職については新型コロナウイルス感染症の関係で地域手当は出されると書いてありました。そのことについてお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>地域手当に関しては、来年1月から見直すということですが、まず行政職員に関して</p>

	<p>は支給しないということになりました。在勤地によって支給するという事で国の基準がありますので、さぬき市の職員であっても、高松市の県庁や水道企業団等に勤務している3人については引き続き地域手当を支給する方向でまとめております。高松市の職員は地域手当が6%出ている一方、香川県の職員は県内押し並べて3.2%が出ております。今回引き続き支給するさぬき市の職員につきましては、他の職員との均衡や財政状況を考慮して、現在と同じ2%の水準で出すということで進めております。これはあくまでも国の基準内ということです。</p> <p>続きまして、医療職の職員ですが、医師につきましては、医師確保という観点から国の基準でも16%の範囲内で出すことができると示されています。今回は、事務と現業職の方を先行して見直す方向ですが、現在のコロナ感染症対策を考慮して、収束するまでの当面の間は地域手当を引き続き出すことができる内容で条例を改正する予定です。基本的には地域手当を廃止するという事で進めています。</p>
委員	<p>地域手当は、高松市内に勤務している職員には出るということですが、さぬき市職員の特殊手当に関する条例の医療職の特殊勤務手当に関する規定を読みました。防疫業務従事者手当について、従事した日は1日550円出るということですが、ここにコロナ感染症の従事者については、1日3,000円から4,000円を支給するようですが、その手当を拡充して支払えば良いのであって、別に地域手当という名前を使わなくてもよいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>当然それに変わる危険手当など、色々な方法があるのではないかと、議会からの御意見もありました。病院の経営状況などもありますので、基本的には今出ている地域手当は廃止という方向で、今後近い将来に話が進んでいくと考えております。</p>
委員	<p>地域手当というのは、本給、扶養手当及び管理職手当を足したものに2%を乗じたもので、思ったより額が大きいです。さぬき市の出したデータによると、平成元年度の地域手当は一般の職員に対して約2,532万7千円。医療職が約2,079万円で、合わせると約4,600万円です。その前年度は4,800万円です。平成27年度から7年間出ているとなると、1年間約5,000万円とすると3億5,000万円が今まで出されてきたという状況です。今後改善するという方向だそうですが、財政状況が1番悪いさぬき市が1番多く人件費を出しているということは大変な問題だと思います。</p>
会長	<p>このことに関しては、議事の資料にも出てありますので、また後程でよいですか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員	<p>シルバー人材センターの給料手当についてですが、内訳は。事務局長の給料は。</p>
事務局	<p>経常経費の給料手当は、正規職員3人分と臨時職員3人分のもので、3月だけ引</p>

	<p>継ぎの関係で7人分のものと聞いております。事務局長もここに含まれています。個別の給料額については分かりかねます。</p>
委員	<p>給料体系は市役所のような制度、基準がシルバー人材センターにもありますか？</p>
事務局	<p>分かりかねます。</p>
委員	<p>市補助金が年々減ってきている状況でも、補助金は出ているので、給与体系も確認をする必要があると思います。</p>
委員	<p>シルバー人材センターに剪定を頼むと、高いところは高齢ということで断られるケースがあり、普通の植木屋さんに頼む方が効率良いと言う市民がいます。</p>
委員	<p>シルバーは剪定をしているだけではないので、広報紙で活動を周知した方が良いでしょう。</p>
委員	<p>剪定だけでなく、農家や企業の手伝いなどもしています。</p>
委員	<p>広報紙配付の準備もしています。亀鶴公園の掃除もしていますが、高齢で人材不足と聞きました。人材不足であれば対策を練って、せっかくの亀鶴公園のショウブを常に綺麗に保てるように人材を確保してほしいです。</p>
委員	<p>シルバー人材センターは今後の方向性を話し合うような会議の場はありますか。当委員会で出た話を伝えてはどうですか。</p>
事務局	<p>公益社団法人なので、当然あると思います。市民にちゃんと活動内容が伝わっていないのであれば広報的な改善の余地があります。</p>
会長	<p>色々と御意見があると思いますが、皆さんに提出していただいた意見徴収票の議題に移りたいと思います。</p> <p>提言の中に盛り込むというのであれば次回にも御意見をいただければと思います。現在のシルバー人材センターの責任者は誰ですか。</p>
事務局	<p>事務局の責任者は、元市職員です。</p>
会長	<p>第3回の会議に来てもらってお話を聞くなど、後でまとめさせていただきます。</p>
議事	<p>(1) 意見徴収票の集約について、(2) その他</p>

事務局	<資料2について説明>
会 長	前回配布された意見徴収票は何人から提出がありましたか？
事務局	4名です。
会 長	4名の方の名前は記入してありませんが、追加して言いたいことがあればお願いします。
委 員	人件費についてですが、さぬき市における人件費を含む経常比率はワースト1、実質公債費率もワースト1で13.7であるにも関わらず、平成27年から現在までさぬき市では地域手当2%が支給され続け、総務省の報道資料によると、地方公務員の地域手当について国基準を上回る支給率の団体として平成28年から平成31年まで香川県で唯一さぬき市が指摘を受けている状況です。総務省が発表した平成31年4月1日現在での地域手当を含む補正後のラスパイレス指数は県内8市において1位がさぬき市、2位が高松市となっており、あまりにもアンバランスな人件費支出がなされていることについて、今後どのように改善されるのかということです。
事務局	地域手当は来年1月から行政職員については基本的に支給しないということで条例改正を議会に提案させていただいております。
会 長	ラスパイレス指数の中には地域手当も含まれていますか。
事務局	今回の委員提出資料にもありますが、さぬき市101.1は地域手当2.0を追加した数字となっております。それを差し引くと99.1となります。
委 員	そもそも地域手当の性格は、同じ省庁や地方自治体でも勤務地によって生じてしまう物価や暖房費等の支出の差を埋めるための手当であり、物価が高く民間企業の賃金の高い地域に勤務する職員に支給される手当であるということです。さぬき市の地域手当は、本給に扶養手当や管理職手当を含めたものに2/100を乗じたものです。それ以外にも、時間外手当の算出の元ともなっていることから、すごい額になっています。
委 員	11月9日に女性団体連絡協議会で、これからできる長尾と志度の公民館と大串半島の開発の2点に絞って市長との意見交換会がありました。市長からはコロナ感染症の影響もあるが、税収が赤字、市民からの税金を徴収できない状況、地方交付税もすごく減らされるだろうという話を聞きました。ここ1、2年は基金を取り崩しながらなんとか回せるが、その後はない袖はふれぬ厳しい状況ということでした。このような財政状況の中で公民館はどのようにして建つのだろうかと思えます。市民のために予算を使ってほしいです。職員に甘く、市民に厳しい予算ではいけないと訴えたいと思えます。

事務局	<p>今回色々な御指摘などを頂きましたが、国や県の基準に合わせてさぬき市では地域手当2%の選択をしていたということですが、基本廃止という対応になりました。給料全般については、基本的には国・県の人事院勧告に基づいておりますので、今後も人件費の適正化は注意して進めていきたいと思ひます。</p>
会 長	<p>意見徴収票に合わせて、第1回で御提言頂いた内容で、前回同様、重点項目を絞って提言書をまとめていきたいと思ひています。</p> <p>項目としては、企業的発想・経営を取り入れた事業、例えばゴミ袋の外袋に広告を掲載して収入に充てたらどうかということがあります。</p> <p>次に、委員から意見のあった人件費と、さぬき市の人口を増やしていくという視点から移住促進が重要でないかなと思ひます。</p> <p>その他、前回では支所・出張所の利便性の低下、さぬき市民の人材育成、ITの導入、ITを活用した情報発信、シルバー人材センター、ふるさと納税、耕作放棄地に対しての取組、コミュニティバスについてなどの御意見があったかと思ひます。</p> <p>これらに今回いただいた意見を加えたものから、5点ほどに絞って提言書をまとめていきたいと思ひます。</p> <p>意見徴収票にないものでもかまいませんので、御意見あればお願いします。</p>
委 員	<p>行政改革に関するものかどうか分かりませんが、表彰について広報紙に大体的に取り上げられる場合とそうでない場合があります。男女共同参画の視点からバランスを考えて、公平にお知らせする方がよいです。どこかの部署で取りまとめをしていますか。各課で掲載について判断しているのですか。</p>
事務局	<p>表彰の中で勲章であれば、取りまとめの部署がありますが、各種団体からされる表彰は各所管課を通じて広報紙に掲載されている状況だと思ひます。言われているようなアンバランスさは、表彰全般を取りまとめている部署がないことが影響しているかもしれません。おっしゃるとおり、広報紙は公平なバランスが必要だと思ひますので、御意見を広報紙担当者に伝え、各所管課は表彰があれば情報提供する取組を始めてはどうかと思ひます。</p>
会 長	<p>男性と女性を比べると、女性の方が広報紙へ掲載されていないという状況ですか。</p>
委 員	<p>そうかもしれません。ある会議では、どのような基準で広報紙に掲載されているのかという意見が出ていました。</p>
会 長	<p>部長から担当者へ伝えておいてください。他に御意見は。</p>
委 員	<p>イベント補助金の見直しの自主財源20%について、地元でどうしてもやってほしいと</p>

	<p>いうイベントであれば、地元もある程度負担、協力してほしいと思います。みろく夏祭りであれば、1,000万円補助金をもらうのであれば、200万円は自主財源で賄っています。自主財源なしで催しものだけやるのは、どうかと思います。</p>
会 長	<p>補助金見直しにより、旧5町にあったイベントがかなり見直されたと聞いています。当然自主財源は1つの目安になっています。</p>
事務局	<p>イベント補助金については、数年前から補助金の見直しをしていると聞いており、補助金全体の額も大幅に減っています。その際には、自主財源も勘案して見直していると聞いています。</p>
委 員	<p>自主財源を作ったイベントに対して、毎年の削減はやめてほしいです。</p>
委 員	<p>話が戻りますが、地域手当の見直しはすごいことです。これは、行政改革推進委員会から話が出たことから議会に提案したのですか。</p>
事務局	<p>この会議で取り上げられる以前から、市当局として検討してきたところに、ちょうど行政改革推進委員会の中で意見があり、今回の見直しになりました。</p>
会 長	<p>他にありませんか。</p>
委 員	<p>子育て世代の移住促進に関して、一番大切な給食について資料をお配りしています。韓国では給食は無償、食材はオーガニック化が進んでいるとのことです。</p> <p>日本ですが、九州で採れた春菊から、基準値の180倍のイソキサチオンが検出され、回収しているというニュースが出ていました。また、放射能を含んだ汚染水が海に流されているということで、9本足のタコなど奇形が多くなってきているようです。</p> <p>近くの長尾中学校でも、枯葉剤を噴霧器で散布していました。児童が生活している校内でそういうことが何の抵抗もなく当たり前のようにされています。農家の人も綺麗な野菜を出荷しないとイケませんが、今回の春菊の農薬は玉ねぎと間違えて使われたということです。とても怖いことで、60キログラムの体重の人が20グラム食べただけで痙攣や嘔吐が起きるそうです。現在、自閉症の子が増えてきているといわれ、原因は不明ですが、一部でグリホサートやネオニコチノイド系の農薬が原因とも言われています。</p> <p>さぬき市が無農薬の食材を使った給食で、子育てに優しいまちになるのは何年後になるかは不明ですが、今から取り掛かっていかないと解決できません。さぬき市の給食は無償、食材はオーガニックとなれば、子育て世帯が移住してくる可能性が高いと思います。</p>
会 長	<p>移住促進の延長線上にあるということで、さぬき市全体として農薬を減らしていくという意見ですか。</p>

委員	<p>資料で提出した山田正彦さんの書籍には、オーガニック食材を市が優先的に買い取るというシステムが書かれています。近い将来さぬき市でも実現できれば、注目を浴び、移住促進につながるのではないかと思います。まずは、栄養士を含めた学校給食の在り方検討委員会を立ち上げたらどうかと思います。</p>
委員	<p>広報紙の表彰の掲載において、男女差別につながらないかという指摘がありました。担当の男女共同参画・国際交流推進室が、川柳や俳句の募集しかしておらず根本的なことをしていないのではないかと市民が誤解している場合があります。啓発活動をもっとする必要があります。</p>
委員	<p>他の委員が言われた補助金に関して、体育協会、観光協会についてですが、合併前に各町にあったイベントを各自でするようにと市から指示がありました。結果的に、スタッフ、金銭面で縮小せざるを得ない状況になり、これ以上補助金を減額されるとお手上げだという話を聞きます。財政難の折、工夫して補助金がこれ以上削減されないようにお願いしたいです。</p>
委員	<p>他の委員からたくさん指摘のあった移住促進についてですが、若い人が喜んで住むような市にしないと人口減少が止まらないのは目に見えています。まず着手してほしいのは、公共施設、2つの図書館、各地区にある公民館にオムツ交換台を作してほしいです。</p>
委員	<p>除草剤については、営業妨害などの問題もあるので、市としてできることを努力してほしいです。除草剤は手に入れやすく、確かに乱用されています。除草剤は使わないでおこうとしても、農薬は田畑には使わざるを得ません。農家の人にとっては、売るために止むを得ず農薬を使っている面もあるので、そこをどう折り合いをつけるかです。</p> <p>市だけでは限度があるので、農林水産省に働きかけてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>先に話があった春菊は、農薬の取り扱い方を間違えていることが問題です。10年ほど前に消費者庁ができ、その当時は農薬について活発に意見が出されていましたが、現在はちゃんとされているだろうと過信されている状態です。ところが、JA久留米の商品が農薬の基準を180倍超えていたということが起こりました。日本は外国に比べて、農薬について甘いです。</p>
委員	<p>孫が幼稚園のとき、除草剤を使わずに家庭菜園しているので、たくさんの蝶が来ました。パセリに青虫がついたので虫かごで飼っていましたが、スーパーで買って来たパセリをえさに与えたら翌朝死んでしまいました。やはり強い農薬が使われているのかなと思いました。</p>
委員①	<p>農業で生計を立てている委員から、農薬とどうやって関わっているのか意見を聞いた</p>

	<p>いです。</p>
委員②	<p>個人的には、あまり農薬を使いたくありません。野菜を買うときに、消費者は綺麗か大きいかを基準で買っており、それをいきなり変えることは難しいと思います。自分の畑では無農薬で野菜を作っていますが、自分で作って食べるとおいしいことを知ってもらいたいです。果物も農薬を使わないと綺麗にできません。</p> <p>まずは廃棄ロスをなくしてほしいと思います。売り物にならないものができた際に幼稚園へ寄附したら、喜んでくれました。ロスになる野菜を給食で活かすことができれば、リサイクルできて費用が掛かりません。</p> <p>耕作放棄地で作った野菜を市が買い取り、給食に使うというような市内での自給自足ができればよいと思います。</p> <p>除草剤についても勉強しましたが、ラウンドアップは発がん性が高いと言われていて、パリでは売られていません。しかし、だんだんと環境に優しい商品が開発されてきています。正しい使い方や知識を広報紙に載せてはどうですか。農薬と環境保全のハイブリットなまちづくりができれば特色のある市になってよいと思います。</p>
会 長	<p>他に行政改革に関しては御意見ありますか。</p>
委 員	<p>リモートワークについてです。移住はかなりの覚悟がないと難しいですが、コロナ感染症により仕事の仕方が変わりました。業種が限られますが、移住希望者へ空き家をリフォームして貸したり、期間限定で住んでもらったりすると良いと思います。リモートワークであれば、移住先での就職の心配は不要で、都会にない自然の中で新しいアイデアが湧くと思います。</p>
委 員	<p>農業従事者が高齢化しており、将来的には耕作放棄地が増えます。今からでも対策を考える必要があり、共同経営が良いと思います。耕作放棄地は点在していますが、それらをまとめられるような話し合いをして、共同でできる耕作地をつくってはどうかと思います。人間関係で難しいかもしれませんが、農業に従事してきた高齢者と若い人を寄せ集めて農業ができないかなと思います。それらができれば、将来的には食料の自給につながり、耕作放棄地・人口減少の対策、技術の継承、農薬に関する知識の共有ができます。</p>
会 長	<p>前回も他の委員から山間部の耕作放棄地や限界集落について、大きな問題となっているという意見がありました。たくさんの御意見が出ましたが、続けてあれば御意見お願いします。</p>
委 員	<p>移住促進についてですが、移住パンフレットは新しくする予定はありますか。</p>
事務局	<p>ちょうど新しいものを作成中です。</p>

<p>委 員</p>	<p>それでは、新しいパンフレットに安心安全なまち、災害に強いまちになるよう努力しているということを入れた方が良いです。岡山県は新幹線が通っている、災害が少ない、温暖という理由で移住希望地としては 10 位以内に入っていました。移住希望地としては岡山県が香川県より常に上位でしたが、岡山県では平成 30 年の高梁川の氾濫により、上位から外れてしまいました。災害が起こると、その地域へ移住希望する人が激減してしまいます。ふるさと回帰支援センターの最新のデータでは、岡山県は 20 位にも入っていません。以前は 7、8 位で、その 3 つほど下が香川県でした。</p> <p>内閣府の首都圏対象の調査結果ですが、移住に関心があるのは 20 代が 40%、30 代が 36% だそうです。しかし、実際に移住実行に移している人は少ないです。そこで、安心安全なまちで後押しできるよう、移住パンフレットで触れることが大切です。</p>
<p>事務局</p>	<p>担当者に御意見を伝えておきます。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に御意見は。</p>
<p>委 員</p>	<p>先ほど市長との意見交換会で地方交付税が今後減るという話を聞いたと言いましたが、具体的にどれほど減るのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地方交付税が減るということは、色んな視点があると思います。国の税収が減って、地方への分配が減るということと、もう一つはさぬき市の人口減少により減るということがあります。来年度については、ある一定の地方交付税は確保しようと国の地方財政対策が出されているので、さぬき市でいえば人口減少の部分で減る見込みがあるということと言えますが、具体的な数値は現在もっておりません。</p>
<p>委 員</p>	<p>聞き間違えかもしれませんが、市長は地方交付税が 80 億円から 90 億円減ると言っていました。しかし、市の資料を見ると令和 2 年度の地方交付税は 80 億円とありました。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和 2 年度が 80 億円で 80 億円減ると 0 になってしまいますが、市の一番主要な収入源の地方交付税が減っていくという話を市長がしたのだと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>コロナ感染症対策費については、国から地方交付税以外に何か出ていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>国からコロナ感染症対策の臨時交付金ということで予算の配分は受けております。事業者に対しては緊急継続支援をしておりますし、子育て世帯に対しては児童手当やひとり親世帯への上乗せも行っております。それ以外にも、医療関係では包括交付金、子育て関係では別の国の補助金がコロナ感染症対策としてありますので、各制度に応じた対応を現在行っております。</p>

委員	コロナ感染症対策については、議員が三役に率先して報酬をカットしたことに敬服しております。
委員	移住促進についてですが、手に職をもったような人を探して、例えば、かなたまキッチンの卵を使ってパンを作るとか、地域でつながりが広がると活性化になると思います。
事務局	移住の相談があると、先に希望を移住コーディネーターが聞きます。例えば木工職人で作業をしたいので近所の迷惑になりにくく広いスペースがある住宅や、将来的にパン屋をしたいのでスペースがある住宅などという希望を聞いて対応しています。
委員	先日、四国新聞にてさぬき市で新生活を始めようという移住支援の広告を見ました。
会長	ここ1、2年で何件か移住された方はいますか。
事務局	新しいパンフレットにも掲載予定ですが、野菜作りをしたいといった方が移住してくださり、先ほどの木工職人の方との移住相談も現在対応中です。
会長	効果はあるわけですね。
事務局	今年はコロナ感染症の影響で前半は移住相談がありませんでしたが、最近は少しずつ頂いている状況です。
会長	<p>大体意見は出たようで、意見徴収票の集約からも、提言書の項目について考えると、企業の発想による取組、シルバー人材センターなどの公益的・公共的な団体の市民の声を取り入れた改善、オムツ交換台の設置など移住促進につながるような子育てに優しいまちづくり、耕作放棄地の4つが思い浮かびます。</p> <p>それ以外に入れた方が良いというものはありますか。</p> <p>企業の発想を行政的な取組に取り入れた方が良いという部分には、ITについてもこの中に入ってくるかもしれません。子育てに優しいまちづくりの部分には、農薬についても入ってくるかもしれません。</p> <p>意見の多かった内容を項目として取り上げ、ある程度絞り込んで提言していきたいと思えます。</p>
委員	先ほど他の2名の委員からも話がありましたが、耕作放棄地に無農薬野菜を栽培するという視点がつながってきた気がします。今後の給食の在り方につながれば良いと思います。
委員	追加して、支所・出張所についてです。本庁の中での縦割りはだいぶ解消されてきた

	<p>気がしますが、例えば出先機関でも市民がやりやすいように業務を見直してほしいです。</p>
委 員	<p>移住に関して、かつては定年後に移住を希望する人が多かったですが、待機児童になるような大都市は嫌だという理由の 20 代、30 代の移住希望者が圧倒的に増えてきました。やはり、子育てに優しいまちづくりに向けていかなければいけません。</p> <p>それに加え、コロナ感染症収束後を見据えて体験型の観光を考えていく必要があります。例えば、南川の自然薯掘りや津田古墳群の発掘など、感動を与えないと見学だけでは印象が弱いです。観光協会や商工会とタイアップして体験型の観光を取り入れたまちの P R をしてほしいです。</p>
会 長	<p>最近の提言は、移住促進に関して何回か続いています。先ほどの体験型観光も含めて、5 つを柱にしてまとめたものを来年の会議に向けて事前配布するものをたたき台にして、御意見をいただき提言書にしていきたいと思ひます。</p>
委 員	<p>シルバー人材センターについて、広報紙で活動内容を周知することは良いと思ひますが、個別に取り上げて提言するのはどうかと思ひます。</p>
会 長	<p>では、団体補助金の見直しの中に含めて提言するという方向でいきます。</p> <p>地域手当についても御意見いただきましたが、今回見直しているということから提言に含めないということによいですか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
会 長	<p>皆さんの御協力で大きな骨格ができました。ありがとうございます。以上で議事を終了します。</p>
閉会	